

特別企画

スポーツ団体ガバナンスコードに基づいた 取り組みを行っているクラブ

NPO法人ウルTRASポーツクラブ ＜鳥取県境港市＞

スポーツの価値を毀損(きそん)しかねない不祥事の発生を防ぎ、また、スポーツの価値を一層高めていくためにも、スポーツの普及・振興の担い手となっている総合型クラブは適正なガバナンスを確保することが今後、求められてきます。

そこで今回は、スポーツ団体ガバナンスコードに基づいた取り組みを行っているクラブを紹介
します。
(※)

(※スポーツ団体ガバナンスコードの詳細については、[スポーツ庁ホームページ](#)をご覧ください)

1 クラブ概要

サッカークラブから総合型に発展し、2014年に法人格取得

1989年に創設したサッカークラブ「フットボールクラブアミーゴ」を核に、さらなるスポーツの普及・スポーツ人口拡大・地域貢献等を目指すため、多世代・多種目を取り入れるべく総合型クラブへ移行し、2008年「総合型地域スポーツクラブ ウルトラC&Sクラブ」を設立。サッカーの他に「トランポ・ロビックス」、「たいいく」の2種目を教室という形でスタートさせ、スキーやキャンプといった地元ならではの自然活動体験を取り入れ、子どもたちの心と身体の成長につながる活動を行ってきました。2014年に特定非営利活動(NPO)法人格を取得し、「NPO法人ウルTRASポーツクラブ」へ移行して現在に至っています。

子どものサッカー以外にシニア世代と幼児を対象とした教室も展開

地域の子どもたちを対象としたサッカー教室では競技レベルを上げることはもちろん、礼儀など人を育てるために毎年「教育(対話)」の勉強会を開催しています。また、子どもたちだけでなく、保護者・指導者にも勉強していただくアクティブラーニングをサッカーの指導に取り入れています。

トランポ・ロビックス教室は、シニア世代の方の体力の維持・向上を図り、たいいく教室では、幼児に体を動かすことの楽しさを知ってもらうため保育所への出張指導やイベントを開催して指導しています。

山陰で初めて導入された「PNFCTレーニング」・「トップアスリート教室」では、ケガをしにくい身体づくりや、サッカーに必要な身体の動かし方が格段に向上し、良い成績を収めることができます。

これらの教室以外にも、地元にある介護施設への訪問・除草作業、中海の一斉清掃、東日本大震災寄付も行っています。

クラブハウスと屋内練習場(スパシーヴァ)を設置して活動し、会員数は115名(令和3年6月現在)です。事務局は2名(クラブマネジャー1名、事務局1名)が常勤しています。



PNFCTレーニング



トップアスリート(土屋健二さん)のサッカー教室

2 NPO法人法の制度を遵守し、ガバナンスを確保

ガバナンスコードを遵守する目的

毎日のようにメディアでは「部活動での暴言暴力」、「オリンピック人権問題」や「情報開示問題」など、ガバナンスコード規定を遵守できていない状況が取り上げられています。

ガバナンスコード規定を守らなければ、クラブ会員・会員の家族・指導者・スポンサー・地域の方々、全てのステークホルダーからの信用を失うだけでなく、クラブのみならず、スポーツ全体の社会的評価に影響しかねません。これを自覚し、私たちウルトラスポーツクラブではオンラインセミナー等を活用し、クラブ役員がコーチング資格を取得し、子どもの指導に対する勉強会に取り組んでいます。

子どもの主体的活動に向けクラブ役員が勉強会

私がFCアミーゴに所属した頃は、指導者主体で子どもたちが言われたことを一生懸命やっている姿が楽しそうではありませんでした。そのことに違和感を覚え、他の指導者を巻き込んで協議を重ね、「子どもたちが意見を言えて、楽しく主体的に行動できる」指導方法に変えたいと考え、取り組みました。具体的には、教育の勉強会を毎月の指導者会議で行い、子どもたちへの関わり方を指導者が共通理解することにしました。以下の4項目を指導者が常に考えて子どもたちに関わるようにしています。

- 子どもたちの話を聞く(傾聴)
- 子どもたちの考えを認める(承認)
- その後にこちらの考えも話し、そして子どもたちが決める。
- チャレンジすることが良いこと、失敗は悪いことではない。

その結果、まずは子どもたちの話を聞いて一緒に考えることで、子どもたちと同じ思いで指導にあたることができている。

会計処理面でも外部監査を導入

NPO法人法では、自主的な法人運営を尊重し、情報開示を通じた市民の選択、監視を前提とした制度になっています。業務執行状況を報告する場としてwebサービスを活用し、事業実施報告書・決算報告書・事業計画書・予算書・役員表・定款等、中長期計画について公表しています。

特定非営利活動法人に必要な資金や運営費に充てるために、特定非営利活動に支障がない限り、特定非営利活動に係る事業以外の事業(その他の事業)を行うことができますが、特定非営利活動に係る会計から区分しなければいけないため、明確な会計処理は法人運営のポイントであることから、公正かつ適切な会計処理をするため、外部監査(税理士)を導入しています。

さらにクラブ員(保護者も含む)との対話を大切にし、ステークホルダーの意見を反映するため、講義形式だけでなく能動的に学ぶことができるようなグループワーク等のアクティブラーニングの手法を取り入れた勉強会を開催しています。これらにより、スポーツ基本法で示されている事業運営の透明性と、迅速で適切な課題解決に努めています。

クラブで実施している内容として、競技レベルの向上はもちろん、子どもたちの豊かな心を育てるために、指導者を中心に教育の勉強を外部から講師を招いて行い、毎月スタッフ会議で情報共有しています。

暴力行為根絶に向けた「教育講演会」を開催

指導者や親を対象に、暴力行為根絶に向けた「教育講演会」を毎年開催しています。子どもが委縮し指導者の言いなりになることを無くすことが目的です。

NPO法人活動としての「環境の保全を図る活動」として、スポーツ広場を使用する際は傷んだ芝生は使わないようにしているほか、市民が気持ちよく使えるよう大人も子どもも、年に数回芝刈りを行っています。

ロシア、ブラジル、韓国との国際交流も実施しています。ロシアには2回訪問し、ロシアからは1回日本に来てくれました。また、韓国も2回行き、韓国からは1回来てくれました。その後、ブラジルには4回も訪問しております。こうした場ではサッカーの交流だけでなく、いつもと違う環境やルールに従うこと、文化の違いを理解してもらうことを学ぶ良い機会となっています。

また、当クラブでは、周りの人が気持ちよく過ごすことができ、「細部までこだわる・気をつける」ことにつながるよう日頃から整理整頓に心がけています。



教育講演会で保護者のワークショップ



ブラジルでの交流大会

3 取り組みの効果・反響・課題等

【取り組みの効果】

- 「教育講演会」では、子ども・保護者・指導者の共通理解が生まれ、各々のストレス軽減や子どものパフォーマンスの向上につながっています。
- 「国際交流」では、トップレベルの技術を学ぶことはもちろん、文化やルールの違いを理解でき、ルールを守れるようになり、人間形成に役立っています。
- 「整理整頓」することで、会場がきれいに保たれ、サッカーの試合においても細部に気づくことができるようになりました。日々の努力により、全国大会に出場した際「フェアプレー賞」を受賞することができました。

【会員からの反響】(指導者と保護者が定期的に学ぶことで生まれた反響)

- 一人ひとりと向き合うことで、子どもたちが自分に自信を持って楽しく取り組んでくれるようになりました。
- 失敗を恐れずにチャレンジする子どもが増えてきました。

【事務局が抱える問題点】

- コンプライアンス等に関する研修会費用を考えると、回数を増やしたいが厳しい状況。

【計画している内容】

- コンプライアンス等に関する研修会や、コーチングに関する研修会の実施回数を増やしたい。

【事務局の所感】

ガバナンスコード原則3(コンプライアンス意識徹底)について、人権問題(LGBT・人種・部落など)やセクハラ・パワハラ(暴言暴力)、個人情報保護・SNS等を含むコンプライアンスの問題は、非常に幅広く、正しい知識を必要とするので、クラブ独自の取り組みを行うことが難しいと感じます。

このコンプライアンスの問題は、子どもたちは学校の授業で学習し、社会人は各企業で教育を受ける内容であり、クラブスタッフが教育を実施することは現実的ではないので、クラブ員みんなで見学できる教育DVD等を貸与してもらう形で実施できればと考えています。

また、以前実施した障がい者の方とのスポーツ交流や、高齢者との交流、外国の方との交流は、子どもたちの人権意識に大きく変化があったので、今後も実施していきたいと思っています。

4

地域貢献活動や国際交流を通じ自立した選手を育成

今後も「いつでも、どこでも、だれでも、楽しくスポーツや文化活動ができる環境を築くこと」を目指します。

子どもの自立した選手育成の一環として、サッカーの練習だけでなく、地域貢献活動や国際交流などを実施するとともに、大人(保護者・指導者)には、子どもの意欲や成長を左右する関わり方を学ぶ「教育講演会」を行いたいと思います。また、子どもの競技力向上とPNFCTレーニングによる運動療法を取り入れ、トップアスリートの育成にも取り組んでいきたいです。

境港市からトップアスリート輩出を

そして境港市からトップアスリートを輩出し、スポーツ大会開催時の宿泊施設を建設できたらと思います。

少子化や地域コミュニケーションが希薄になっていることなどから、家庭や学校教育だけでは伝えきれない部分を、スポーツや地域貢献できる活動への参加により「子どもたちの健全な成長を促す環境」を醸成したいと考えています。

学校部活動の受け皿に

夢の実現のため、「子どもの練習環境の向上(天然芝の維持管理・室内練習場の確保)」や、「クラブハウス新設等の環境整備」をしていきたいです。

また、学校部活動においても、受け皿となるための準備は整えているので、関係団体には総合型クラブへの理解をお願いしたいと思っております。

他のクラブにはない「オンリー1」のクラブを目指します。

(NPO法人ウルTRASポーツクラブ クラブマネジャー 金坂 博)

クラブプロフィール

設立年月日 平成20年6月28日(平成26年8月11日法人登記)

所在地 鳥取県境港市麦垣町297

運営 会員数115名(令和3年6月現在)、予算規模500万円(令和2年度)

特徴 定期教室では、全世代向けの「トランポ・ロビックス教室」、幼児向けの「たいいく教室」を実施しています。サッカーではキッズ、ジュニア、ジュニアユースの大会をクラブ主催で開催しています。子どもたちの自立を考えた育成、指導者・保護者の子どもに対する接し方の共通理解を深める研修会、中海の一斉清掃や介護施設への訪問・除草作業などの地域貢献、ロシアやブラジル遠征などの国際交流を取り入れた活動をしています。

連絡先 〒684-0052 境港市麦垣町297

TEL / FAX 0859-57-5170

URL <https://fcamigo-ultrasc.com/>

E-Mail ultra-cs@sea.chukai.ne.jp